

福島への応援メッセージこいのぼり

鯉は里の魚。里は「田」と「土」、「田(農地)」の神を「土(社)」をまつる意味があります。「鯉アートのぼり」は、鯉が龍となるように、子どもたちが明日に向かって昇っていくエネルギーを、一緒に育んでいきたいと願い、企画されました。

福島には、江戸時代から「絵のぼり」という、端午節句に肉筆(手描)のぼりの幟旗を飾る伝統があります。「鯉のぼり」は、「絵のぼり」が変化し誕生したものとされます。また福島県は鯉の捕獲量が全国第1位を誇ってきました。

今回、「鯉アートのぼり」では、福島の町なかに世界各国から寄せられた「鯉の幟(のぼり)」をたてていきます。福島住民にとって余震や放射能という「目に見えないもの」の不安な気持ちを、美術という「目に見えるもの」の力によって勇気づけていきたいと発起しました。

アーティストの河口龍夫さん、奈良美智さん、ヤノベケンジさんほか、イギリス、スイス、ドイツ、アメリカ合衆国、ペルーなどの諸外国、全国の学校園からも、作品が送付されてきました。これらは同じ柄で大量生産した旗ではありません。一人一人の思いのこもった个性的で色とりどりの旗幟です。

5月5日は、震災から55日目となります。風評被害もありますが、福島町の街中を色鮮やかに飾った応援旗を通して、「元気」を受け取って頂ければと思います。

【連絡・お問合せ・送付先】

福島大学 芸術による地域創造研究所
〒 960-1296 福島市金谷川1番地
E-mail : koichi@hotmail.com

Tel&Fax : 024-548-8226
<http://wa-art.com/koi/>

